

中学校区におけるめざす子ども像 ・積極的、自主的に学び続ける子 ・自ら学び、共に考える子										堺市立東百舌鳥中学校 校長 武田 真也		
令和6年度 重点目標												
【生徒指導力の向上】 【信頼される教職員の育成】 【生徒の自己肯定感の向上】												
確かな学びの現状						豊かな心・健やかな体の現状						
授業での教科学習においては落ち着いた環境で授業を受けるということを目指している。 アンケート結果から「授業が楽しく、分かりやすい」に対する回答が53％であることから更なる工夫改善が必要である。また、「学校に行くのが楽しい」に対する回答が74％である。授業を含めたあらゆる教育活動に工夫が行われている。 しかし、チャレンジテストの対府平均を見ると、項目別にまだまだ課題があると感じている。						・すべての生徒が友人や教師と良好な関係を築けるように、対話を中心に取り組んでいいる。 ・授業、学校行事、生徒会、部活動などあらゆる教育活動を通じて、生徒の自尊感情や自己肯定感を高めることができる集団作りを進めている。 ・本校の生徒は、体を動かすことに積極的で、部活動の入部率も高いことから、「体育」と「部活動」の両面から体力の向上を図っている。						
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)				
								自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	基礎学力	基礎学力の定着。 自ら問題を発見し、取り組むことができる。 読解力向上の育成。	英語と数学において習熟度別指導の実施。	全国学テにおける府平均を上回る。	各調査	2学期末	△	全学年で朝読実施。	×	3年生数学においては府平均を3点下回る結果となった。1年生英語においては府平均を4点下回る結果となった。	×	基礎学力の定着と底上げのため、来年度も習熟度別指導を1年生で実施してほしい。 また、図書館の活用を活発にするための取組みを実施してほしい。
			読書の習慣づけ。(朝読の実施)	堺市調査で70％以上の肯定的回答。	各調査	2学期末	△		×	「読書は好きですか」59％ 学校図書の活用が課題。	×	
	授業改善	ICTを活用した授業改善を推進し、子どもたちが目標をもって参加し、わかる授業を実施する。	全教科で場面に応じてICTを活用した授業を推進。	全教科においてタブレットを活用。	実践報告	通年	○	学年や教科によりばらつきがある。	○	週1回以上活用82％ 各教科で場面に応じて活用している。	○	引き続きICTを活用し、主体的・対話的な授業を進めてほしい。 PC活用力が高まるといくもの危険性(ネット上のトラブル・犯罪等)や課題が伴うので、情報モラルについての指導を重視してほしい。
			対話的・主体的な授業展開の実施。	生徒が意欲的に授業に参加しているか。	観察アンケート	通年 2学期末	△		△	教科と特性もあり、実施のばらつきがあるため更なる工夫が必要。	△	
			検索力・伝える力を育成する授業の実施。	調べる、考える、伝えるを意識した授業の実施。	観察アンケート	通年 2学期末	△		○	「タブレットを使って調べる」75％ グループで話し合い・発表する」68％	○	
豊かな心・健やかな体	豊かな心	あらゆる教育活動の場面で、生徒の自尊感情・自己肯定感を高める。	学年行事や学校行事を生徒中心に運営し、成功体験を積ませる。	生徒が意欲的に取り組んでいるか。	観察アンケート	通年 2学期末	○	概ね予定通り取組めている。	○	「学校行事に満足している」88％ 生徒主体の取組みが実施できており、各学年で成長がみられる。	○	アンケート結果からも生徒が主体的に学校生活に取り組んでいることがよくわかる。 特にエンブレムコンテストは非常によいと思う。引き続き生徒主体の教育活動を実践してほしい。
			規律ある過ごしやすい学校生活の提唱。	学校の決まりを守っているか。相手の気持ちを考え行動しているか。	観察アンケート	通年 2学期末	△		○	「学校のきまりやルールを守る」94％ 生徒会中心の活動で、生徒の規範意識が高まっている。	○	
			道徳の授業を中心にあらゆる教育活動の場面で人権教育を実施する。	教材を活用し授業を実施。人権に関する対話をどれだけしたか。	実践報告アンケート	通年 2学期末	○		△	「相手の気持ちを考え、自分の思いを持って行動している」88％ 「道徳の授業が好き」61％	△	
	健やかな体	健康的な体づくりと体力を向上させる。	部活動の加入率80％以上の活発な活動で体力向上を目指す。	生徒が意欲的に取り組んでいるか。	観察加入率	通年	△	R6部活動加入率73.6％ 学校行事については生徒会・委員会生徒が中心に実施。	△	2年生の退部者が多かったため、加入率80％にとどかなかった。 1年生においては80％を達成している。	△	部活動は「人間形成の場」と考え、3年間続けられる指導に取り組んでほしい。 また、学校行事で生徒のエネルギーをうまく活かしてほしい。
			体育大会・クラスマッチ等、生徒主体で実施。	生徒が意欲的に取り組んでいるか。	観察	通年	○		○	委員会生徒中心の取組み実施ができており、今後は企画からの実施を促し、更なる成長を図りたい。	○	
地域共同	情報発信	地域・家庭への積極的な情報発信やオープンスクールの実施により開かれた学校づくりを行う。	ホームページ・学校通信等で積極的に情報発信する。	ホームページへのアクセス数・学校通信等の発行回数。	アクセス数発行回数	通年	○	HPアクセス平均270件/日 学校通信7回発行(11月時点) 市民オリンピック・健全育成マラソン大会等に積極的に参加。	○	HPは毎日更新、学校通信も年11回発行し、地域・家庭に積極的な情報発信を行うことができた。	○	プライバシー保護に配慮しながら積極的な情報発信を続けてほしい。 また、地域の美化活動や防災訓練にも参加し、地域貢献できる人材を育成してほしい。
			地域行事に積極的に参加する。	生徒が積極的の参加しているか。	アンケート	2学期末	○		△	肯定的回答率54％ 部活生徒中心の参加、今後は一般生徒への働きかけが課題。	△	
校長より(年度末) 英語と数学の基礎学力定着については、全体として目標達成には達しておらず、引き続き指導の工夫と支援の充実が求められます。特に、学習の定着度を高めるための補充指導や個別支援の強化が必要であると考えます。来年度は、より効果的な指導法の研究・実践を進めてまいります。次にICTを活用した授業改善については、一部の強化で成果が見られるものの、教科ごとに取組みのばらつきありました。今後は、ICTを活用した指導の共通理解を深め、全教科での効果的な活用を推進することが課題となります。一方、生徒の自尊感情や自己肯定感が高いという結果が得られました。生徒同士の良好な人間関係や、教職員の支援が大きく寄与しているものと考えます。今後も、生徒一人ひとりの個性を尊重し、安心して学びに向かえる環境づくりを大切にまいります。								学校関係者評価者から(年度末) ここ数年と比べ、生徒たちが落ち着いてきたと感じます。先生方の地道な指導の成果が表れているのだと思います。今後も諦めず、一人ひとりに寄り添った指導を続けてほしいです。 また、基礎学力の向上にも引き続き力を入れてほしいと思います。学ぶ力をしっかりと身に付け、将来につながる学びを大切にしてほしいです。 地域貢献できる中学生の育成も重要です。学校と地域が連携し、生徒たちが社会の一員としての意識を持ち、地域に貢献できる機会を増やしていけることを期待しています。				